

第7回

ECOTOURISM AWARD 2011

# エコツアーリズム大賞

地球と人に優しい旅を！  
日本のエコツアーリズムの担い手たち



エコツアーリズム大賞概要	1
■ 審査委員長講評	
「第7回エコツアーリズム大賞」の選考を終えて	1
第7回エコツアーリズム大賞の経緯	2
大賞受賞者の紹介	3
優秀賞受賞者の紹介	4
特別賞受賞者の紹介	6
応募団体一覧	8
応募状況	9

主催 環境省



NPO 法人日本エコツアーリズム協会



## エコツーリズム大賞の概要

### エコツーリズム大賞とは

エコツーリズム大賞は、エコツーリズムに取り組む事業者、団体、自治体などを対象に、優れた取組を表彰し、広く紹介するものです。全国のエコツーリズムに関連する活動の質的・量的向上並びに、情報交換等による関係者の連帯感の醸成を図ることを目的とし、平成17年度から行なっています。

### 応募対象

地域の自然環境や歴史文化を保全しつつそれらを体験する「エコツーリズム」に関連し、環境保全活動を取り入れた取組や、様々な自然体験（農林水産業体験や生活文化体験を通じた自然環境への理解につながる活動なども含む）の取組、その他の取組について、環境保全や地域活性化、良質な体験提供等の視点から特に優れた活動を行っている事業者、団体、自治体など（例：ツアー事業者、宿泊業者、交通事業者、コンサルタント、協議会、地域団体、学生団体、地方公共団体など）を対象とします。

### 過去の大賞受賞団体

- 第1回 ピッキオ（長野県）
- 第2回 ホールアース自然学校（静岡県）
- 第3回 認定特定非営利活動法人霧多布湿原トラスト（北海道）
- 第4回 飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会（埼玉県）
- 第5回 海島遊民くらぶ（有限会社オズ）（三重県）
- 第6回 特定非営利活動法人黒潮実感センター（高知県）



## 審査委員長 講評

### 「第7回エコツーリズム大賞」の選考を終えて

東京大学大学院農学生命科学研究科教授 下村彰男



今回の第7回エコツーリズム大賞は東日本大震災の影響もあり、募集期間が例年よりいささか遅くなりましたが、63件と多くの応募をいただきました。内容を一覧しますと、例年とは言うもの、実に多様なタイプの活動があることに驚かされます。自然地や農山村といった活動フィールドはもとより、組織の規模や形態、主たる活動の内容など、実に様々で、エコツーリズムが広く認知されるようになり、概念的にも幅広く捉えられるようになってきていることを再認識しました。

こうした流れの中で、いわゆる自然学校あるいは農山村における体験学習など、エコツーリズムに比較的近い活動領域で活動されていた組織からの応募も増えてきているように思われます。ただこれらの応募では、そのままの活動で受賞することは難しく、単体としての活動を充実するだけでなく、広く地域におけるトータルな活動を通して、地域の特質や独自性を来訪者に伝え、そのことが地域の活性化に結びついていく視点が必要になると考えられます。言い換えますと、地域におけるより幅広い資源性への着目や、地域における他組織への働きかけや協働を通して、より総合的に地域全体を豊かな生活の場にしていくという視点が重要になると考えられます。

今回、大賞を受賞された「NPO法人信越トレイルクラブ」は、ロングトレイルの整備と利用を着実に広げながら、それを舞台に周辺自然環境の保全や管理、近隣地域をも視野に入れて地域との連携を深め、地域の活性化にもつながる活動を継続しておられる点が評価されました。また、優秀賞そして特別賞を受賞された組織も、公共的な組織が主導的に展開されているケースにせよ、民間組織やNPO法人が地域を巻き込みながら積極的に活動されているケースにせよ、いずれも地域の自然や歴史、そしてそれらが育んだ地域の生活文化に焦点を当て、それらを活かして特徴的あるいは総合的な活動を展開されている点が評価されています。「地域」に対するより深い理解と、貢献に対する強い志をもって取り組まれている姿勢に敬意を表したいと思います。

エコツーリズム大賞も今回で7回を数え、これまでの受賞者から「受賞が励みになった」あるいは「受賞を契機として活動の幅が広がった」といった声も聞こえてきて、選考に関わる私たちにとってもううれしい限りです。受賞者の皆さんはもちろんのこと、応募いただいた皆さんの活動がさらに一層充実されることを期待いたします。

# 第7回 エコツーリズム大賞の経緯

**募集期間** 平成23年9月22日～11月28日  
**応募総数** 63件  
**表彰式** 平成24年1月26日



表彰式

## 受賞者一覧

### 大賞

**特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ**（長野県）  
里山を巡る80kmのロングトレイルの挑戦

### 優秀賞

**てしかがえこまち推進協議会**（北海道）  
観光を機軸とし「誰もが自慢し、誰もが誇れる町」を目指す！

**二戸市宝を生かした事業実行委員会**（岩手県）  
二戸市はこれからも地域の宝を生かしたまちづくりを進めます

**針江生水の郷委員会**（滋賀県）  
各家々の軒先にわき出る生水と自然豊かな水辺の景観を守りながら活動

### 特別賞

**小岩井農牧株式会社**（岩手県）  
120年の歴史、文化、自然、畜産と山林の生産農場にふれる旅

**株式会社 エコロの森**（富山県）  
富山の自然、歴史、文化などの魅力を伝える着地型のエコツアー会社です

**飛騨里山サイクリング（株式会社美ら地球）**（岐阜県）  
スローな里山を、自転車で旅するサイクリングツアーです

**特定非営利活動法人 桜島ミュージアム**（鹿児島県）  
桜島はまるごと博物館！現地で本物を見て体感しよう！

## 審査委員

審査委員長

**下村 彰男** 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

**海津 ゆりえ** 特定非営利活動法人 日本エコツーリズム協会理事

**桜井 義維英** 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家所長

**佐藤 博康** 松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科教授

**長谷川 和芳** 一般社団法人 日本旅行事業協会理事・事務局長



## 大賞

### 特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ 里山を巡る 80km のロングトレイルの挑戦

#### 講評

第2回エコツーリズム大賞の特別賞、第4回の優秀賞を受賞しており、その後3年間の発展的な取組が評価された。自主ルール作成、地域と協力して歴史や自然を伝える案内板等の設置による安全確保、登録ガイドの人材育成、トレッキングにおけるガイドと参加者の比率についての配慮に取り組み、トレイルの全線においてモニタリングを継続して実施しており、年間ガイド派遣回数は200回、年間案内者数は2,300人と増加している。

加えて、赤外線による入山者カウント機器を導入したコースや季節による利用度を検証、自らの活動内容の適正化のため環境保全の専門家や住民等で構成される「信越トレイルの利用と保全に関する検討委員会」を設置している。また、トレイル整備を隣接地域の各団体に整備担当区間を持ってもらう体制の構築など、トレイルを舞台に地域資源の保全と利用、地域活性化について広域的かつ積極的に活動している。

これらの取り組みは、全国各地で設置の動きが高まるロングトレイルにとって、環境保全の体制、地域振興、協働型管理のモデル事例として高く評価されるものである。



#### 応募の概要

全長80kmにわたる信越トレイル<sup>®</sup>を整備。地域住民による地域資源・自然資源の認識・発掘・保全を促し、広域活性への着実な活動をしている。

#### 受賞の言葉



この度のエコツーリズム大賞受賞につきまして、まずは関係各位に御礼を申し上げます。信越トレイル<sup>®</sup>は、平成12年に地域の連携、広域観光の可能性を探る調査事業として活動が始まりました。ブナの森に育まれた豊かな自然環境を生かし人々との関わりのある里山文化の継承や、観光地の新たな顧客開拓にもつながる事業としての期待や地域資源を掘り起こす活動は年を重ねるごとに熱を帯びました。生物多様性の保全を基本とし、自然や文化を学び次の世代につなぎ、新たな交流活動を通じ地域発展に貢献するというガイドラインは、活動の指針でありこの考えに賛同する仲間たちが集い、汗を流しての道づくりが進みました。木こり道の延長を80キロメートルの一本道にするまでの歳月は8年、実にのべ2,000人もの人たちがこの活動に参加しての成果といえるでしょう。

近年、自らの健康と、ライフスタイルとしての環境配慮が旅行に出た先でも意識され、自然の中に身をゆだね余暇活動を楽しむ人たちが増えて参りました。多くの人たちが私たちの住む山村の環境に理解をいただき、我々住民もそんな皆さんとふれあうことで地域の宝物を守っていこうという意識がさらに高まればと感じています。大賞受賞を機に、さらに多くの人たちに理解していただける活動を広めて参りたいと考えております。ありがとうございました。

## 活動内容

長野・新潟両県にまたがる関田山脈に埋もれつつあった旧道・古道を多くのボランティアの手作業によって80kmのトレッキングコースとして再整備したことにより、両県の交流が再開し、住民による地域資源や自然資源の認識・発掘・保全を促し、関係する地域の広域活性化へつながり始めている。開通後3年経った今も、地域内における各種活動が継続発展している。



### 組織の沿革

代表者名：小山 邦武  
設立：2003年  
所属人数：スタッフ4名  
会員数約300名

### 連絡先

〒389-2601  
長野県飯山市照岡 1571-15  
なべくら高原・森の家内  
Tel: 0269-69-2888 e-mail: office@s-trail.net  
web: <http://www.s-trail.net/>

## 優秀賞

## てしかがえこまち推進協議会

観光を機軸とし「誰もが自慢し、誰もが誇れる町」を目指す！

北海道川上郡  
弟子屈町

## 講評



推進協議会の内部にエコツーリズム推進部会や人材育成部会などの様々な部会を設置し、エコウォークなどの常設プログラムの実施や人材育成に取り組んでいる。プログラムの改良にあたっては町民向けのモニターツアーを重ね、地元の視点を取り入れたプログラムとなるようブラッシュアップを行っている。また、阿寒国立公園内のプログラムではツアー人数を制限し、参加者へ環境へのダメージを軽減するためのガイドランスを積極的に実施している。これらのプログラムを協議会の会員で着地型商品として販売することにより、地域内での収益還元システムを構築した点が評価された。

## 応募の概要

他団体との連携等により地域密着型旅行会社を設立し、町内の各産業をつなぐコーディネート役割を果たしている。

## 活動内容

地域の様々な産業を包括し観光を基軸とした「循環型社会」の確立、「誰もが自慢し、誰もが誇れる町」を目的とし、町民、観光事業者、地域組織、行政機関等が一つになり、エコツーリズムに取り組んでいる。子どもたちによるジュニア自然ガイド、女性やお年寄りによる昔語りなど、多様なプログラムが展開されている。



### 組織の沿革

代表者名：徳永 哲雄  
設立：2008年  
所属人数：約120人  
団体数7団体

### 連絡先

〒088-3211  
北海道川上郡弟子屈町中央 2-7-28 Tel: 015-482-2940  
e-mail: [ecomachi@masyuko.or.jp](mailto:ecomachi@masyuko.or.jp)  
web: <http://www.masyuko.or.jp/ecotopindex.html>

優秀賞

## 二戸市宝を生かした事業実行委員会

二戸市はこれからも地域の宝を生かしたまちづくりを進めます

講評



第3回エコツーリズム大賞の特別賞を受賞しており、継続して住民と行政が一体となり地域の宝を掘り起こし、宝を生かしたまちづくりを進めるとともに、エコツーリズムへと展開させる活動にも取り組んでいる。これらに加え、雑穀を中心とした地域の食文化を全国エコツーリズム大会を通じ発信し、食文化による観光の可能性を探るなどの宝を活用した積極的な活動が他地域に対するモデルとして評価された。

応募の概要

地域の「宝探し」の取組みを経て地域づくり活動が活発化。雑穀文化や巨木によるコミュニティビジネスの起業を目指す団体の設立などが行われている。

活動内容

二戸市では、自然や伝統文化など住民が価値あると認めたものを宝と位置づけ、宝を「探す」「磨く」「誇る」「伝える」など、宝を生かしたまちづくりに平成4年から取り組んでいる。その継続的な取組みの中から地域づくり活動が活発化し、地域組織が地域の宝の活用を通じて交流人口の増加を図る「興す」取組みを旅行会社との連携により始めている。2011年度は、大規模な観光地を持たない地域における食文化による観光の可能性を探るため、全国エコツーリズム大会を開催した。



## 組織の沿革

代表者名：小保内 道彦  
設立：2009年  
所属人数：26団体

## 連絡先

〒028-6192  
岩手県二戸市福岡字川又47 二戸市総合政策部地域振興課内  
Tel: 0195-23-3111 (代表)  
e-mail: eco-takra@city.ninohe.iwate.jp web: <http://www.city.ninohe.iwate.jp/>

優秀賞

## 針江生水の郷委員会

各家々の軒先にわき出る生水と自然豊かな水辺の景観を守りながら活動

講評



第3回エコツーリズム大賞の特別賞を受賞しており、地域の生活文化である「川端かぼた」と呼ばれる湧き水との関わりなどを資源として、環境の保全や地域活性化につながる工夫が成されている。定期的なツアーの実施や体験型の宿泊や環境教育など多様な取組みを住民主体の組織として、バランスよく継続的に実施していることが、住民が主体となった活動のモデルとして評価された。



応募の概要

川端見学ツアーだけでなく、地元食材を使った軽食付定期ツアー等も催行。英語版パンフレットも作成し活動している。

活動内容

各家々に湧き出る水と家々の間を流れる小川を組み合わせる「川端かぼた」を中心に、地区を流れる針江大川や琵琶湖など様々な水との関わり、針江全体を針江里山水博物館として紹介している。町づくり委員会の一員として地区行事への参画、協賛をはじめ、通年の見学者の受付案内、月2回の定期ツアー、児童・学生の環境学習などを行い、「人と人、人と自然の関わり」を一義に掲げ、より多くの人が地域活性化や自然環境保全活動へ取り組む動機付けとなる活動をしている。

## 組織の沿革

代表者名：美濃部 武彦  
設立：2004年  
所属人数：79名

## 連絡先

〒520-1502  
滋賀県高島市新旭町針江372 Tel・Fax: 0740-25-6566  
e-mail: shozunosato@lapis.plala.or.jp  
web: <http://www.geocities.jp/syouzu2007/>

## 小岩井農牧株式会社

## 120年の歴史、文化、自然、畜産と山林の生産農場にふれる旅

## 講評

総面積3,000haにおよぶ小岩井農場をフィールドとして、小岩井農場の自然環境の紹介に留まらず、農林畜産物の製造、歴史的建造物や文化を専門ガイドのガイダンスのもと実施する複合体験ツアーに取り組んでいる。年間のツアー催行回数は341回、参加人数は約8千名を数える。また、地元経済への貢献のため、農場内に宿泊施設を設けず、地元の宿泊施設と連携した活動が評価された。



## 活動内容

小岩井農場が保有する3,000haのうち2,000haに及ぶ森林には、清らかな水や多様な生態系を育む豊かな自然環境が形成されている。ここで「小岩井農場エコファーマーリングスクール ガイド付きツアー『小岩井農場物語』」を実施し、農場の歴史、文化、農林畜産業を知ることから、自然の素晴らしさの体感、環境保全の大切さや環境への理解と関心を深めることを目指している。通常非公開のエリアをバスで巡るツアーと、徒歩で巡るツアーを設け、幅広いプログラムを提供している。



## 組織の沿革

代表者名：児玉 喜一  
設立：1891年  
所属人数：430名

## 連絡先

〒020-0507  
岩手県岩手郡雫石町丸谷地 36 番地 1 Tel: 019-692-4321  
e-mail: eco@koiwai.co.jp  
web: http://www.koiwai.co.jp/eco/

## 株式会社 エコロの森

富山の自然、歴史、文化などの魅力を伝える  
着地型のエコツアー会社です

## 講評



ツアー事業者として、環境保全に繋がることを主眼に置きエコツアープログラムを作成している。ツアー料金の一部を地域振興に取り組む団体に寄付するなど、地域内の連携強化に取り組むとともに、地域におけるコーディネーターの役割を積極的に担っている。また、質の高いツアーの提供のため、ガイドには山岳ガイドなどの資格を有する者を採用することに加え、ガイドの質の向上のため研修やトレーニングを実施する独自の体制を構築している点が評価された。



## 活動内容

エコツーリズムの理念に基づき、富山の地域資源の発掘、歴史、自然、文化を守り伝える着地型・少人数制のエコツアー専門の旅行会社として、参加者の満足と地域活性化がつながるよう、地元関係者との連携を図るなど地域密着でエコツーリズムを展開している。



## 組織の沿革

代表者名：森田 由樹子  
設立：2008年  
所属人数：連携ガイド約20名

## 連絡先

〒930-0876  
富山県富山市文京町 3-4-8  
Tel: 076-444-0576 e-mail: info-ecolo@ecolonomori.com  
web: http://www.ecolonomori.com/

特別賞

## 飛騨里山サイクリング(株式会社美ら地球) スローな里山を、自転車で旅する サイクリングツアーです

岐阜県飛騨市

### 講評

昔ながらの里山の暮らしが残る岐阜県飛騨市で環境にやさしい自転車を活用したエコツアーを行っている。同行するガイドは地域への造詣が深く、参加者が五感を使って飛騨エリアに残る日本らしさに気づいてもらえる説明を実施している。2011年は11月現在でツアー催行数は144回、約450人がツアーに参加している。

また、地域と連携して里山空間の保全に取り組むとともに、飛騨地域の古民家1,000軒について、聞き取り調査を実施し地域資源の現状把握を進めると同時に、古民家の手入れを手伝うボランティア活動による地域資源保全の取り組みなどが評価された。



### 活動内容



ガイドツアーを通して飛騨の文化、歴史はもとより、地域で出会う地元の人たちとのふれあいの中から、飛騨の暮らしを伝え、日本の田舎を旅する体験を提供している。観光情報の少ない田舎に受け継がれている「あたりまえの生活」を旅行者に提供し、飛騨の本当のファンになっていただくこと、そして、地域にすでにある宝物を地元の方たちが守り継いでいくことを柱として、エコツーリズムを進めている。



#### 組織の沿革

代表者名：山田 拓  
設立：2007年  
所属人数：8名

#### 連絡先

〒509-4235  
岐阜県飛騨市古川町式之町 8-8 Tel: 0577-73-5715  
e-mail: reservation@satoyama-cycling.com  
web: http://www.satoyama-cycling.com/

特別賞

## 特定非営利活動法人 桜島ミュージアム 桜島はまるごと博物館！現地で本物を見て体感しよう！

鹿児島県鹿児島市

### 講評

桜島の自然の魅力伝えるだけでなく、桜島の自然と密接な関係にある人々の暮らし、産業や文化などについて、理解を深めるツアーを実施している。ガイドスタッフはインタプリターや安全管理の講座を受講しスキルアップに積極的に取り組んでいる。また、地域への経済活動の活性化や放棄地の有効活用のため、桜島の椿油の情報発信と需要拡大を図る「桜島 TSUBAKI プロジェクト」を展開し、地域住民と協力し椿油をテーマとしたツアーをはじめ、桜島の地域資源を素材とした様々なプログラム開発の取り組みなどが評価された。



### 活動内容



桜島全体を博物館とらえ桜島の自然・歴史・文化の調査・保存活動を行い、火山や防災の教育普及活動につとめている。世界的にも有名な活火山である桜島の自然や文化を守り、その環境を観光や教育に活かし、桜島をベースとしたエコツアーの仕組み作りや地域住民主体のイベントの開催、地域特産品のブランド化と販路拡大及び環境保全活動を実施し桜島地域の活性化を目指している。



#### 組織の沿革

代表者名：福島 大輔  
設立：2005年  
所属人数：スタッフ11名  
(会員113名)

#### 連絡先

〒891-1541  
鹿児島県鹿児島市野尻町 205 番地  
Tel: 099-245-0100  
e-mail: info@sakurajima.gr.jp  
web: http://www.sakurajima.gr.jp/



# 応募団体一覧

都道府県	名称
北海道	てしかがえこまち推進協議会
	NPO 法人 知床自然学校
	Giro21
	UW クリーンレイク洞爺湖
青森県	NPO 法人 白神山地を守る会
	NPO 法人 白神自然学校一ツ森校
岩手県	小岩井農牧株式会社
	ふるさと体験学習協会
	二戸市宝を生かした事業実行委員会
福島県	猪苗代湖の自然を守る会
群馬県	谷川岳エコツーリズム推進協議会
千葉県	森の時計・自然工夫塾
東京都	NPO 法人 八丈島観光レクリエーション研究会
	株式会社 農協観光グリーンツーリズム事業本部
	有限会社リボン
	NPO 法人 国際海洋自然観察員協会
	日本エコプランニングサービス
	EGGS
	認定 NPO 法人 環境リレーションズ研究所
	クエストジャパン株式会社
新潟県	寺子屋つばさ実行委員会
	柏崎・夢の森公園(柏崎市)
富山県	株式会社 エコロの森
山梨県	NPO 法人 えがおつなげて
	富士山登山学校ごうりき(株式会社 合力)
長野県	株式会社 アウトドアサポートシステム ODSS 乗鞍上高地ランチ
	NPO 法人 調和の響きエコツーリズムネットワーク
	NPO 法人 八ヶ岳スーパートレイルクラブ
	ラポーザ
	NPO 法人 信越トレイルクラブ
岐阜県	社団法人 飛騨市観光協会
	星の会・飛騨コスモス
	飛騨里山サイクリング
静岡県	川根本町エコツーリズムネットワーク
愛知県	表浜 BLUE WALK
三重県	NPO 法人 赤目四十八滝溪谷保勝会
	紀南ツアーデザインセンター
	NPO 法人 赤目の里山を育てる会
	鳥羽市エコツーリズム推進協議会

都道府県	名称
滋賀県	湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部実行委員会
	エコツーリズム協会しが
	高島市商工会女性部
	針江生水の郷委員会
京都府	南丹市美山エコツーリズム推進協議会
兵庫県	北桑の森
	青空ファン
奈良県	六甲摩耶鉄道株式会社
鳥取県	Ever Green
徳島県	大山・中海エコツーリズム協議会
愛媛県	観光登山シリーズ『木沢の山と花と温泉ツアー』
	うわじまアウトドアスポーツクラブ(宇和島山岳会)
高知県	よろずや体験事務所 をかしや
	西条自然学校
長崎県	NATURAL GROOVE
熊本県	高島町ブルーツーリズム促進協議会
大分県	NPO 法人 阿蘇ミュージアム
	NPO 法人 かまえブルーツーリズム研究会
宮崎県	NPO 法人 リバーシブル日向
	NPO 法人 五ヶ瀬自然学校
鹿児島県	梢回廊キャノピー
	NPO 法人 桜島ミュージアム
沖縄県	石垣島エコクラブ
	エコガイドカフェ

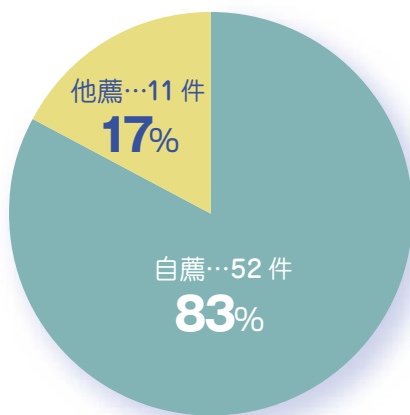


# '11 ECOTOURISM AWARD

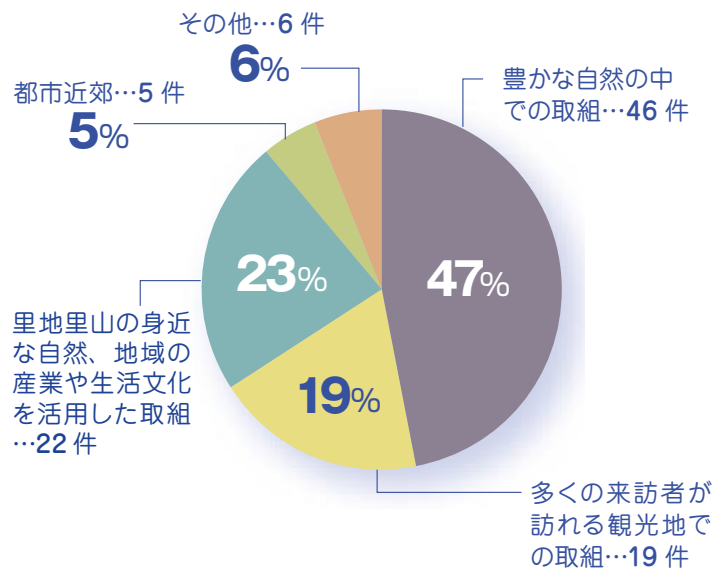
## 応募状況

第7回エコツーリズム大賞へ応募があった63件を、「応募主体」「地域特性」「取組分野」「対象主体類型」ごとに集計。さらに「全国応募状況」として都道府県ごとにまとめた。

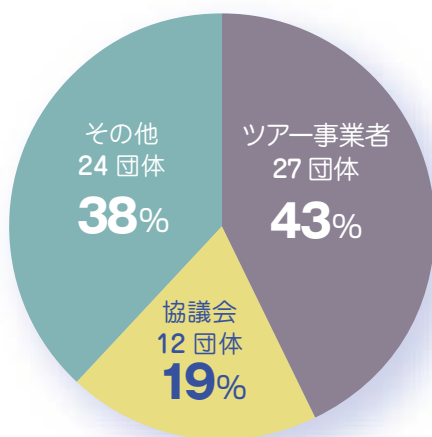
### 応募主体



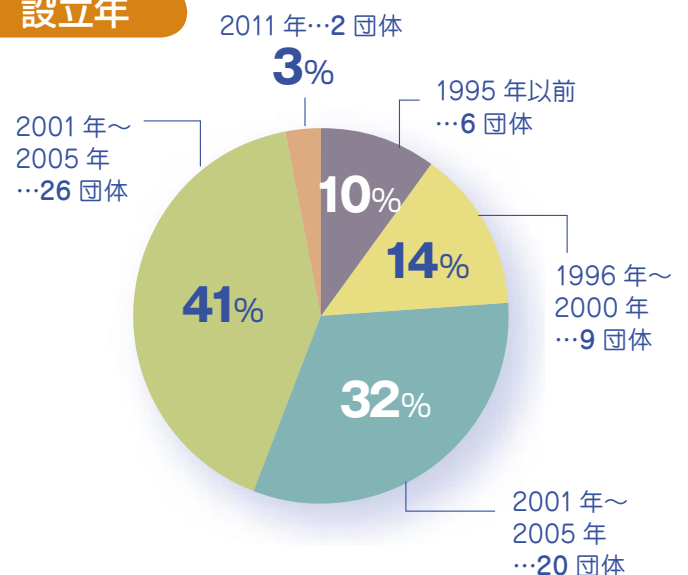
### 地域特性



### 対象主体類型

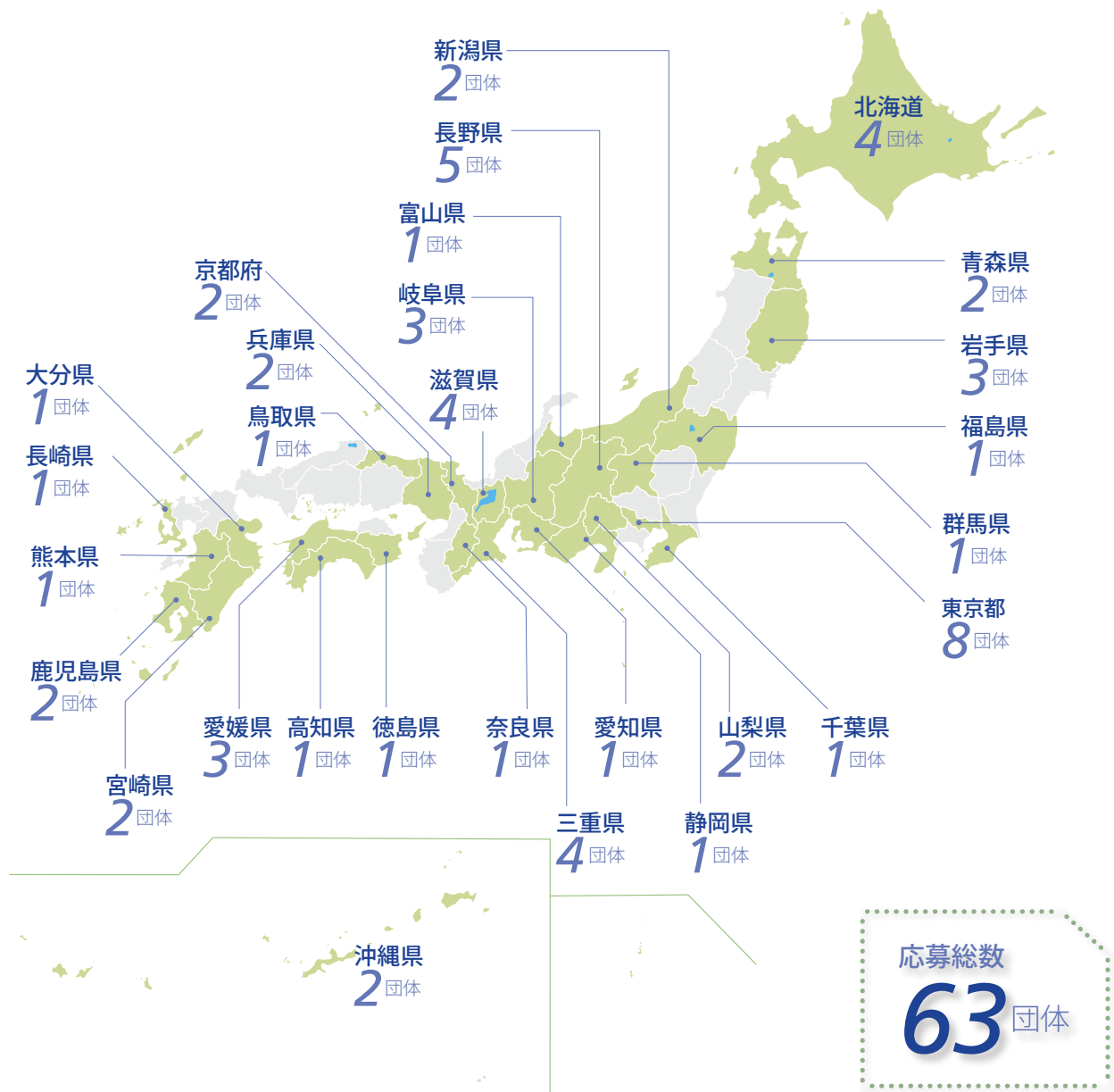


### 設立年





## 全国応募状況



# 「第8回エコツーリズム大賞」募集のご案内

## 募集対象

### ●エコツーリズムへの優れた取組事例を募集します。

取組の例

- ・ 地域におけるエコツーリズム推進団体の設立と運営
- ・ 保全利用協定やガイドラインなどのルールづくりやその継続
- ・ 農業体験や校外学習などと連携したエコツアーの実践
- ・ 環境への配慮や環境保全への貢献
- ・ エコツアー等の情報提供の取組
- ・ 環境保全や地域振興への観光収益の還元システムづくり
- ・ エコツアーにおけるゴミの削減や環境負荷の低減
- ・ エコツアーのマーケティングや斡旋などを含めたエコツアー事業の運営など



## 表彰

### ●エコツーリズム大賞(1点)、エコツーリズム優秀賞と特別賞各数点を予定しています。

\*受賞者には表彰状と副賞を授与します。

## 応募資格

1. エコツーリズムに取り組む団体(事業者、企業、地方自治体、地域のグループ等)
2. 経験年数、法人格の有無、種類は問いません。
3. 自薦、他薦の別を問いません。
4. 過去の優秀賞・特別賞受賞者も応募可能です。

## 募集時期

2012年夏頃予定。詳細は環境省ホームページでご案内する予定です。

(<http://www.env.go.jp/>)

## 審査

エコツーリズム大賞審査委員会において各賞を選定し、環境大臣が決定します。

決定後受賞者に通知し、表彰式を行います。



発行日：2012年3月

発行：環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

TEL：03-3581-3351 FAX：03-3508-9278

<http://www.env.go.jp/>

制作協力：NPO法人日本エコツーリズム協会 Japan Ecotourism Society (JES)

